

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 3 月 17 日

事務事業名		道路補修事業					事業区分		担当	
政策体系上の位置付け							新規/継続	継続	事務事業No.	040603000372
							単独/補助	単独		所属課
政策体系	総合計画の施策名		0406	道路整備と交通網の充実			主要事業	対象	グループ	
	政策名		04	快適で潤いのある生活環境づくり			市長マニフェスト	対象外		維持管理G
	施策名		06	道路整備と交通網の充実			未来PJ事業	対象外		
	基本事業名		03	市道の危険箇所の整備			合併建設計画事業	対象外		
財務会計上の位置付け							事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し（年度～）	
	01	08	02	02	01	00	道路維持事業		↳ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入	
法令根拠										

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
道路パトロール等で発見した、道路や側溝等の補修が必要な箇所、危険な場所及び区長等からの要望・苦情等の申請や連絡等があった場合、現地調査をして工法等を検討し職員で対応出来る箇所については速やかに補修を行い、その他対応できない場合は、測量・設計等を行い入札・発注する。工事完了の確認検査を行い、工事費の支払いを行う。	要望・苦情の受付、現地調査、工法検討、測量設計、入札発注、完了検査、工事費支払い。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移									
①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	
各地区の区長からの要望等があった場合に現地調査を行い軽微なものに対しては職員・直営で対応し、その他は、工法等をグループ内で協議し工事業者に依頼して工事発注する。工事が完了したら工事費を支払います。		要望・苦情件数	件	542.00	604.00	600.00	600.00	600.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	
市道・水路対象		直営・工事済件数	件	542.00	521.00	500.00	500.00	500.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	
道・水路の補修をすることにより、安全に通行・排水を確保できる。		要望・苦情件数と直営・工事済件数の対応率	%	100.00	86.00	83.00	83.00	83.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

(3) 投入量（事業費）の推移				26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	期間限定 総投入量	
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	26,856	54,580	49,000	49,000	49,000	0
	事業費計（A）		千円	26,856	54,580	49,000	49,000	49,000	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	0.00人	8.00人	8.00人	8.00人	8.00人		
		述べ業務時間	時間	4,900.00	3,989.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00		
		人件費計（B）	千円	14,215	11,572	11,604	11,604	11,604		
トータルコスト(A)+(B)			千円	41,071	66,152	60,604	60,604	60,604		
事業費の内訳	27年度事業費 実績（千円）					28年度事業費 予算（千円）				
	11 需用費		7,874			11 需用費		9,000		
	15 工事請負費		32,034			15 工事請負費		30,000		
	16 原材料費		14,672			16 原材料費		10,000		

(4) 当該年度の実施内容		28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する		道路補修事業は、道・水路の補修又は修繕工事を軽微な要望は直営で対応し、その他は、請負業者に依頼する。		
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 				

事務事業名	道路補修事業	事務事業No.	40603000372	所属課	建設課
-------	--------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 道路維持管理を行わなくては、事故誘発の要因となる。市に道路維持管理を開始した時から市道・水路補修・舗装率が向上する中、補修・舗装の耐久年数が概ね10年と考えられているため過去5年前と比べると道・水路補修・舗装箇所も年々増加傾向にある。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 住民には、早急な対応が求められている。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 道・水路等の修繕・補修等を行って、安全な通行・排水等を確保することで事故誘発のならない道・水路に結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 管理者として、修繕・補修を行うことが義務で放置しておけば事故誘発の要因となり管理者責任となる。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 道・水路を通行する住民の安全を重視し維持管理に努める。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 事故誘発の要因となり管理者責任となる。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業が見当たらない
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 毎年単価契約をしているが削減余地はない。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である すべて道・水路利用者に公正・公平である。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	毎年、各区長・市民からの要望件数が27年度は、若干減少しているが事業費の原材料費が向上しているので検討していく必要がある。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果																						
		コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>